

《挨拶》 上野良一ガバナー

富沢副会長の方からお話がありましたように、エドワード・F・カドマンRI会長御夫妻が来日し、大阪、九州、東北を回り昨日東京に来ているはずで、今日東京で数地区の人が集まり歓迎会とミーティングをし、明日エキスポを見てお帰りになるということです。来日の日程が定まらず、どうしたらよいかと案じたのですが、最終的に今日に決まりました皆様には早朝からこのような段取りになりましたことをお許し願いたいと思います。

それが原因ではないとは思いますが、上田会長さんが急な病気で入院検査中ということで二重に責任を感じる訳でございます。どうぞくれぐれもお大事になされますようにお言付け下されば幸いと思います。

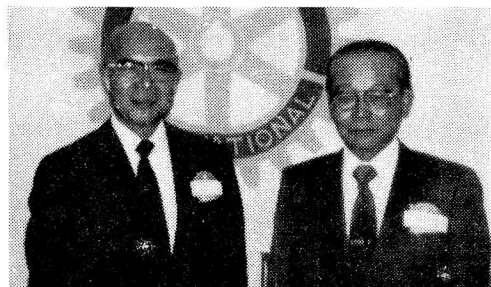
——各委員長の発言は割合させて頂きます。——

総評

出席委員会

当クラブの場合は理想的な出席の状況であると感じます。統計を見ますと、100%スレスレという所で一年間の出席率が決まっています。100%を出すという事も一つの方法かも知れませんが、100%の年度を作りまして、それを続けますと非常に苦痛になります。だれが休むか、だれかが休めば自分も休めると、入院していても気がきでなく、例会だけは無理して出るとなると治る病気も治らなくなってしまう事になりますので、100%に近いスレスレの線を維持されるということは実に理想的であります。

出席することはロータリーの出発点でございますので、出席しなければ親睦も高められない訳ですからクラブのすばらしい実績、伝統というものは最初に築いて継承していく事が大事な事だと思えます。



クラブ会報委員会

ご説明頂いた要点そのもので全くよろしいと思います。特にゲスト卓話者の話の要点が、話す側と聴く側の感情の違いから誤解が生じることもあり、よく内容を把握されることに気をつけて下さい。

会報はクラブの顔です。そして歴史です。卓話者に対する礼状等の節度を守って下さい。

親睦委員会

ビジターの方に対して、職業分類等を積極的にお尋ねするようこちら側から申し出る事により親しみが沸きます。

ビジターばかりが固ってしまったり、近所のクラブの人同志が隣り合って座った時にそこに割って入ることで話がはずむような手段を取ることも一つです。

新会員が新睦委員会に属しても、会員の名前は覚えにくいので、先輩方から声をかけてやります。

雑誌委員会

「ロータリーの友」の中で特筆すべき事があつたら例会の中で話をする、という事は毎月1回として出番は12回ある訳です。「ロータリーの友」の中には毎月どこかにキラッと光るものがあるはずで、従って雑誌委員会の方は一年間でロータリー情報に通暁してしまう事になるはずで、月に一回、例会で5～6分の時間で「ロータリーの友」のピーアールをして頂く訳です。

ツン読にならない様に、どうしたら雑誌を開か

せるか、いかに興味を引かせるか、ということが雑誌委員会の役目でしょう。5分間の話をする為にその内容を捜すことにより、ロータリー情報通になれる機会をこの3名の方々には与えられているのだとお考えになれば楽しいのではないのでしょうか。

#### プログラム委員会

会長が一番安心出来るのがこれです。年間プログラムを決めて、その所々に穴をあけておき、時期に応じたい話をそこに入れる。実にうまいプログラムの作り方だと思います。

委員長さんは例会は休めません。特に外部から講師を招き卓話を頼む場合、時間に遅れたり、急に来れなくなったりした時に会長又は委員長が代行しなければなりません。ですからこのお二人は常に1つのスバラシイプログラムをポケットに入れておき、いつこのスバラシイ話を皆に聴かせてやろうかと、例会に出席しますと例会が非常に楽しくなり、ゆとりを持って出席出来ます。

#### 広報委員会

我々はロータリーのバッヂをつけます。職場では社のバッヂに変えていると思います。そして、お客様と接する時に親切で丁寧な受け答えをすることで、あの方はどの様な方なのかということからロータリアンである事がわかり、そこで、ロータリーとは何か、ロータリアンとはなぜ親切なのか、なぜ思いやりがあるのか、というようになれば初めてロータリーの広報というものが個人として、クラブとして、地区として成功したと思います。

広報の原点は会員の日常の言動にあると思います。広報は委員会にまかせとけばいいのではなく、ロータリアン一人一人が地域社会の中でどういう影響力を持つか、善意の影響力を持つかという事が大事な問題ではないかと考えます。

#### ロータリー情報委員会

ロータリー情報が非常に活発で、そしてロータ

リー情報を大切にしている当クラブのようなクラブは成長します。非常に堅実であります。

しかし、ロータリー情報をおろそかにしたクラブは必ず衰微します。

ロータリー情報委員会はいくつかの役目があります。

当クラブが会員増強なされる場合に当然紹介者がいるはずで、会員候補者に対してまず紹介者がロータリー的な話をする訳です。この場合、情報が公平化されていませんと人によってマチマチだという事になり、そうすると混乱が起こり、そして、そんなはずではなかったという問題が出て来る事になります。いかにして紹介者が候補者に対して話す情報はどうかということクラブとして統一しておく必要があります。

推薦されて、紹介者や会長幹事と一緒にこの人をどうするかということで、情報委員会が中心になって説明します。この時言わなければならないことを整理されてませんと、年度によってロータリー情報が乱れる事になります。

入会されたら炉辺会合等で教育をされますが、もう一つ、古い会員に新しい情報を教えてさし上げることにより、昔の考え方を改めさせてやります。そのためにはR Iからの情報が会長幹事さんの手許に送られて来ますから、その情報を情報委員会にも知らせて頂けるようコピー等を差し上げて頂きたいと思います。そしてこの情報をうまく例会等で使っていきますと、新しい情報を皆に知らせる事になります。

スマイル委員会以降のガバナーコメントは、勝手ながら次回会報に載せさせていただきます。

言訳させて頂くならば『忙しいからロータリーがある』はずだったのが、忙しすぎてロータリーの為の時間が・・・やはり言訳がましい事は言いません。次週をお楽しみに!!